

信州大学医学部附属病院 消化器外科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

「集学的治療時代における肝細胞癌の機能的切除可能性の検討」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

研究課題名	集学的治療時代における肝細胞癌の機能的切除可能性の検討
所属(診療科等)	消化器外科
研究責任者(職名)	野竹剛(助教)
研究実施期間	医学部長による許可日～2031年7月31日
研究の意義、目的	肝細胞癌における機能的切除可能性を明らかにすることを目的とした研究で、肝細胞癌患者さんの治療に貢献すると考えられます。
対象となる方	1990年1月1日から2025年12月31日の期間に当院で肝細胞癌に対して肝切除を受けられた方
利用する診療記録	年齢、性別、BMI、Performance status、背景肝疾患、併存疾患、抗ウイルス療法歴 Child-Pugh score、ICGR15、ALBI score、mALBI grade、ALICE grade、血液生化学検査、血小板数、AFP、PIVKA-II 腫瘍径、腫瘍数、腫瘍局在、脈管侵襲、肝外転移、腫瘍学的切除可能性分類、病理所見 肝切除術式(部分切除、亜区域切除、区域切除、2区域以上切除)、解剖学的切除の有無、手術時間、出血量、術後合併症、術後肝不全の有無、術後合併症(Clavien-Dindo分類) 術後6か月時点のChild-Pugh score、術後6か月時点のALBI score、術後6か月時点のmALBI grade 再発の有無、再発時期、再発形式、再発時Child-Pugh score、再発時ALBI score、再発時mALBI grade、初回再発治療、再発後生存期間、全生存期間
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、肝切除後に高度の肝機能低下を起こす危険のある患者さんを予測しうる指標を検討します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 野竹剛(消化器外科・助教) 電話: 0263-37-2654

既存の検体や診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、参加取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。